

森(モリ)・盛(モリ)・オホーツク



No. 11 平成28年2月18日

林野庁 北海道森林管理局

常呂川森林ふれあい推進センター

1月15日(金)、置戸町の道有林「置戸照査法試験林」で現地検討会(企画:網走中部森林管理署)が行われ、3名が参加しました。

「照査法」は、①できるだけ多量の木材を ②できるだけ少量の資源で ③できるだけ価値のある木材を生産することを目的に、区画ごとに成長に見合った伐採を行うことで継続的に最高の生産力を発揮するという施業方法です。



当日は、伐採現場

に案内してもらい、道有林(オホーツク総合振興局東部森林室)の担当者から調査方法や生産された丸太の状況などについての説明を受けた後、質問や意見交換がありました。

その後、置戸町の製材工場、プレカット工場に会場を移し、原木が製品になるまでの工程を見せていただきながら、木材加工・利用・流通についての理解を深めました。

森林づくり・木材利用を学ぶ 置戸町・紋別市で勉強会

1月28日(木)、紋別市で建設中のバイオマス発電工場とオホーツクバイオエナジーチップ工場を見学させていただきました。



この発電所では、木質バイオマス(未利用材・間伐材等年間約22万トン)を中心とする燃料により、一般家庭6万5千世帯分の発電予定で、今夏から試験稼働、12月から営業運転となる見込みです。



コープ「^{あした}未来の森づくり」 連動して地域の森づくりを！

1月30日（土）、コープさっぽろ主催の「北海道の森づくり交流会」（北見会場）に参加しました。

交流会は全道11会場をテレビ会議中継で結んで行われ、絵本作家小寺卓矢氏の「森でつながる・森でつなげる」の講演、対談、室蘭・北見地区の森づくり活動の報告などが行われました。

北見会場では、全体会議の前段でフリートーク形式で「子供たちをどうやって森に呼び込むか」「森林について思うこと」「森での活動」などを意見交換しました。

その中では、子ども探検隊に参加した子どものお母さんから「とにかく楽しかったようです。秋には一緒に落ち葉を拾ってステンドグラス作りをしました。」といううれしい発言もありました。

コープの**あすもり**（「未来（あした）の森づくり」）活動と当センターの活動が連動して地域の森づくり、森林環境教育に結びつくような取り組みを検討していきたいと思います。



北の国・森林づくり技術交流発表会 自然再生活動で発表

2月4～5日、札幌市で「北の国・森林づくり技術交流発表会」が行われ、当センターからは「針広混交林をめざして」というテーマでモニタリング結果を中心に自然再生活動について岩本自然再生指導官が発表しました。

この発表会は、森林技術、森林保全、森林ふれあい、高校など4部門38課題にわたり、国有林以外の報告・発表もありました。

各地域で取り組んでいる様々な活動を見聞することで当センターの活動に取り入れることができるものも数多く、有意義な2日間となりました。



北海道森林管理局 常呂川森林ふれあい推進センター

090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960 FAX 0157-26-2144

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/